

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

創部以来初の個人戦によるインターハイ出場！



東京成徳大学深谷高等学校
弓道部
まつもとかのん
松本佳暖さん

仲間と切磋琢磨し
高め合うことで成長！

「団体戦に力を入れていたので、個人戦でインターハイへ出場できたことにびっくりしています。」と話すのは、令和4年度全国高等学校総合体育大会弓道競技埼玉県予選を通過し、弓道部の創部以来初となる、個人戦でのインターハイ出場を果たした松本佳暖さんです。試合の前日には、的を射るイメージトレーニングを欠かさず、試合では深呼吸をし心を無にして臨む姿勢が結果につながったと語る松本さん。

弓道は、高校入学後から始め、入学当時は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年より約4カ月遅い入部となりました。練習においても制限がある中、松本さんは先輩や監督に指導されたこと



▲徳島県徳島市のインターハイ会場で矢を射る松本さん

を繰り返し実践し、練習後も自宅でトレーニングに励みました。また何より、意見を出し合い互いに高めていくことができる、部員の仲間たちの存在が、成長につながったと言います。そのため、「団体戦で仲間たちとインターハイへ出場することを目標としていました。」と仲間思いな一面も話してくれました。インターハイでは惜しくも敗退してしまいましたが、予選は一回きりのため、楽しみながら悔いのないよう力を出し切りました。

松本さんは高校をもって弓道から引退するそうです。しかし、「弓道を通して『仲間たちとの協力』や『継続することの大切さ』を学び、成長することができました。」と笑顔で話してくれました。その貴重な経験は、今後の松本さんの人生で生かされていくことなのでしょう。

『農業』で

深谷を元気に！

深谷市では、『儲かる農業都市かや』の実現を目指し、『農業』を核とした産業のブランディングを進めています。
問い合わせ/産業ブランド推進室 ☎577 - 3819
産業ブランド推進室 検索

地域通貨『ネギー』を使って市内でお得に買い物しませんか？

地域通貨『ネギー』は、スマートフォンを利用する『アプリタイプ』と、専用のカードを利用する『カードタイプ』の2種類があります。

1negi=1円として、1,000円単位でチャージでき、市内760店以上で利用できます。また、利用した際に利用額の1%がポイントバックされるので、現金で支払うよりもお得に買い物ができます（例：10,000negi利用で、100negiポイントバック）。

今後、ポイントバック率を増加させるキャンペーンも予定しています。また、『ネギー』で最大20,000ポイントのマイナポイントを受け取ることもできます。

【地域通貨『ネギー』サポート窓口】

現在、市役所に特設窓口を設け、利用方法などの案内をしています。この機会にぜひ、ネギーを登録して市内でお得に買い物や飲食を楽しみませんか？

受付期間：令和5年2月28日(火)まで(土・日曜日、祝日を除く)

受付時間：午前9時～午後5時(木曜日は午後7時まで)

ところ：市役所本庁舎1階多目的ホール

■地域通貨『ネギー』取扱店一覧

深谷市地域通貨『ネギー』が利用できる、取扱店一覧は市のホームページに掲載しています。
ご確認のうえ、ぜひご利用ください。



▲取扱店ページ

■ごひいき店紹介キャンペーン

新たに『ネギー』取扱店になってくれるお店を紹介いただいたかたに、1,000negiをプレゼントするキャンペーンを実施中です。
ぜひ、おなじみのお店をご紹介ください。



▲キャンペーンページ

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩



109 満福寺

今日は畠山の『満福寺』に来たよ～！ここは、畠山重忠公が再興し、重忠公の菩提寺と言われているお寺なんだって。さっそく行ってみよう！



◀▲重忠公等身大の千手観音立像が安置されている観音堂だよ(写真右)。境内には重忠廟の石碑もあつたよ～(写真左)。



◀▲満福寺は嘉承2年(1107年)頃に弘誓房深海上人により創建されて、その後、重忠公が壽永3年3月(1184年)に再興したんだって。本堂には戦死した重忠公を弔うため、位牌が奉られているよ。

ふっかちゃんのつぶやき

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋/秋って何をしてもいい季節だよねえ♪
ふっかちゃんはやっぱり…食欲の秋かなっ Y(o0w0o)Y



食欲の秋？ 深谷市

心の広場

深谷西小学校6年
(現南中学校1年)
荒岡 珠希さん



人間の形

みなさんは人権を知っていますか。人権とは、おたがいの個性やちがいを認め合い、相手を思いやることだと思います。人権の中で私が思うかべたのは障がい者についてです。

まず、なぜ私が障がい者について書こうとしたかというと、登校の時に次のようなことがあったからです。

私たちが登校をしていると、車いすの方が通りかかりました。すると、みんなの目が車いすの方のほうにいきました。車いすの方はこちらを見ませんでしたが、視線を感じていやだったのではないかと思います。見られていることに気づいているのかわからないけれど、もし、自分が車いすに乗っているだけで見られたらいやだろうな、と思いながら私も車いすの方のほうを見てしまっていました。

そこで、私はなぜ車いすの方を見てしまったのか、考えてみました。

すると、私はみんなとちがうから、そう考えてしまったのです。でも、車いすに乗っているだけで人間なのになぜ見てしまったのか、分からないままでした。

その後、学校の道徳の時間に病気で足を切断した人のお話がありました。そのお話で一番びっくりしたことは、世界大会で優勝したということでした。その人は、足を切断して、最初は人目をさけて生活していたようです。ですが、その後の話の中で、「せっかく障がい者なのだから、パラリンピックを目標ががんばってみよう。」と言っていました。私なら、足を切断してしまったので、その人の最初のように、人目をさけて生活しているのではないかと思いました。そう考えると改めてすごいなと思いました。

そこで私は、もう一度なぜ車いすに乗っている方を見てしまったのか考えてみました。

ですが、もう一度考えても、何度考えても前と同じ、みんなとちがうから、としか考えることができませんでした。

そこで私は、少し考え方を改めてみました。車いすに乗っているから、足を切断してしまったから、かわいそうではなく、どんな人でも私と同じ人間なのだという、あたり前のことを改めて考え直してみたのです。

だれが人間の形なんて決めたのだろう。目が二つ鼻が一つ口が一つ、手が二本足が二本、それぞれの手足に指が五本ずつなんてだれも決めていないじゃないか、そう思いました。それは、私が勝手に考えた人間で、その形とちがうから、勝手にかわいそうだと思って、それはなにかちがうと思いました。

もし、足が一本なかったら人間じゃなくなるわけでもないし、人間に生まれてから、だれでも一生人間ではなくならないのだ、と思いました。だから私は、人間の形なんて気にしないようにしよう、そう思いました。